

394

ふりがな 氏名		おつす こうた 大槻 晃太					
所属先	所属先名称	福島県農林事務所農業振興普及部					
	役職名	副部長					
専門分野 ※該当に✓を記入		☐ 捕獲手法 ☒ 侵入防止技術 ☒ 周辺環境整備 ☐ 地域合意形成 ☒ 野生動物管理（生息調査含む） ☐ 処理（焼却・減容化） ☐ その他（ ）					
対象鳥獣 ※該当に✓を記入		☒ シカ ☒ イノシシ ☒ サル ☐ クマ（ツキノワグマ・ヒグマ） ☒ ハクビシン ☐ アライグマ ☐ アナグマ ☐ カラス ☐ カモ ☐ ヒヨドリ ☐ スズメ ☐ ムクドリ ☐ その他鳥獣（ ）					
対応可能地域 ※該当に✓を記入		☐ 全国 ☐ 北海道 ☐ 東北 ☐ 関東 ☐ 北陸 ☐ 東海 ☐ 近畿 ☐ 中国 ☐ 四国 ☐ 九州 ☐ 沖縄 ☒ その他※特定の都道府県、地域（ 福島県 ）					
免許、資格及び登録状況 ※該当に✓を記入		☐ 狩猟免許 （銃：取得年 S・H・R 年 、 わな： S・H・R 年 ） ☐ 鳥獣プロデューサーバンク { ☐ 鳥獣保護管理プランナー ☐ 鳥獣保護管理捕獲コーディネーター ☐ 鳥獣保護管理調査コーディネーター } ☐ 鳥獣管理士（ 級 ） ☐ ジビエ活用コーディネーター ☐ その他（ ）					

活動実績	
活動期間	令和2年4月1日～令和4年3月31日
地域	福島県南会津地方および県中地方
対策の種類 ※該当に✓を記入	☐ 捕獲手法 ☐ 侵入防止技術 ☐ 周辺環境整備 ☐ 地域合意形成 ☒ 野生動物管理（生息調査含む） ☐ 処理（焼却・減容化） ☒ その他（森林被害の現状把握）
対象獣種 ※該当に✓を記入	☒ シカ ☐ イノシシ ☐ サル ☐ クマ（ツキノワグマ・ヒグマ） ☐ ハクビシン ☒ アライグマ ☐ アナグマ ☐ カラス ☐ カモ ☐ ヒヨドリ ☐ スズメ ☐ ムクドリ ☐ その他鳥獣（ ）
活動の内容	県では、ニホンジカの生息が拡大しており、国有林を管理する福島森林管理署から造林木への被害発生について相談を受けた。そこで、ニホンジカの確認が早かった南会津地方と近年の確認が多い県中地域（郡山市など）の被害発生状況や出没状況を調査した。併せてスギなど造林木の枝葉摂食被害については、ニホンジカ・カモシカ判定キットによりほとんどがカモシカであることを明らかにした。これら情報は、森林管理署とも共有し、継続的に被害の発生状況やニホンジカの生息状況について検討していくこととした。
活動期間	令和4年6月1日～現在まで
地域	福島県県南地方
対策の種類 ※該当に✓を記入	☐ 捕獲手法 ☒ 侵入防止技術 ☐ 周辺環境整備 ☐ 地域合意形成 ☐ 野生動物管理（生息調査含む） ☐ 処理（焼却・減容化） ☐ その他（ ）
対象獣種 ※該当に✓を記入	☐ シカ ☐ イノシシ ☐ サル ☐ クマ（ツキノワグマ・ヒグマ） ☒ ハクビシン ☒ アライグマ ☐ アナグマ ☐ カラス ☐ カモ ☐ ヒヨドリ ☐ スズメ ☐ ムクドリ ☐ その他鳥獣（ ）
活動の内容	県では、育苗ハウス等活用したぶどう栽培を振興しているが、一方でハクビシンによる被害が発生していており、対策が求められていた。そこで電気柵を指導し、設置前後の出没状況をセンサーカメラにて確認し、加害獣がハクビシンとアライグマであること、設置した3段張りの電気柵により侵入を防げたことを確認し、講習会等で有効性を広めた。今年度は、ぶどう栽培だけでなくトマト栽培などのハクビシン被害対策講習会を令和5年7月に開催予定。